

JIS

UDC 677.494

Z 1533

ポリオレフィンクロス用 フラットヤーン

JIS Z 1533-1995

平成 7 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 45. 9. 1 改正：平成 7. 7. 1

官 報 公 示：平成 7. 7. 3

原案作成協力者：日本フラットヤーン工業組合

審 議 部 会：日本工業標準調査会 高分子部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課(〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ポリオレフィнкロス用
フラットヤーン

Z 1533-1995

Polyolefine flat yarn for woven cloth

1. 適用範囲 この規格は、ポリオレフィン⁽¹⁾クロス用フラットヤーンの種類、品質及び試験方法について規定する。

注⁽¹⁾ ここでいうポリオレフィンとは、高密度ポリエチレン、ポリプロピレン、並びにエチレン系重合体及びプロピレン系重合体を主体としたものをいう。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

(1) フラットヤーン ポリオレフィンを主原料としたフィルムをスリットして、延伸して作ったへん平なもの。筋入りフィルムからのものも含む。

(2) 正量 絶乾質量に公定水分率に相当する質量を加えたもの。

(3) 織度(tex) フラットヤーンの太さを表す単位。1 texは、長さ1 000 mでその質量が1 gであるもの。

3. 種類 フラットヤーンの種類は、ポリオレフィンの主原料の種類と呼び織度(tex)によって表1のように区分する。

表1 種類

種類	主原料	呼び織度 tex
1種(PE)	ポリエチレン系	34
		45
		95
		112
		134
2種(PP)	ポリプロピレン系	167
		200
		223
		278

備考1. 呼び織度(tex)は、表2の正量織度によって規定し、表示に用いる。

2. フラットヤーンの呼び方 フラットヤーンの呼び方は、種類及び呼び織度による。

例 フラットヤーン 1種(PE) 112 tex

フラットヤーン 2種(PP) 200 tex